



チラシ・カタログ



商品パッケージ



学習教材



マンガ



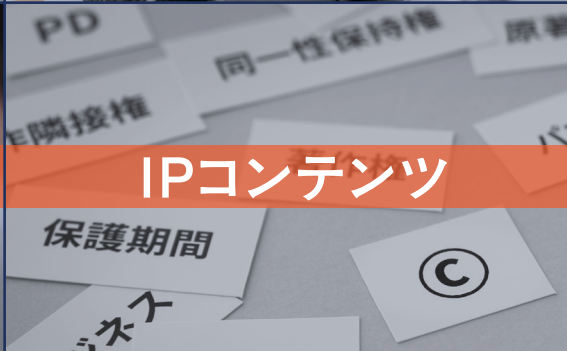
イラスト



Webコンテンツ



動画



IPコンテンツ

制作DX

1,000社と共に築いてきた
コンテンツ制作現場のプロセス改革



制作DXとは

コンテンツの質に集中できる、ムダのない制作プロセスへ

チラシ、カタログ、商品パッケージ、学習教材、マンガ、キャラクターグッズ。

これらは、身近なものであり、暮らしを豊かにしています。

しかし、一つのコンテンツ(制作物)が完成するまでには、膨大な手間と時間がかかっています。

さらには、制作するコンテンツの数、関わる人の数、使用ツールの数が増えることで、

制作現場にかかる負担が、途方もなく増えていきます。

制作DXとは、単にデジタルツールを導入することではありません。

制作に関わるプロセス全体を見直し、

スムーズに制作が流れる仕組みを整えることが重要です。

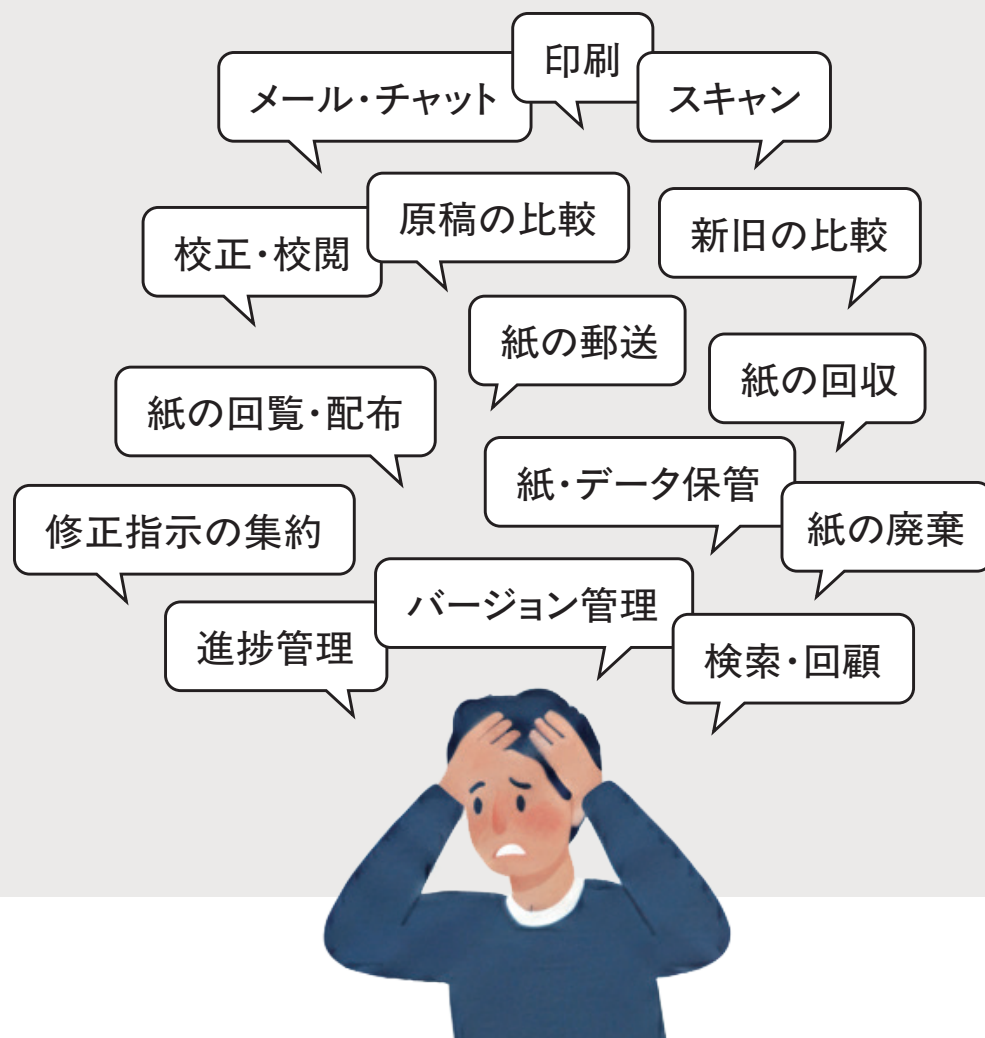
結果として、制作チームが本来注力すべき

「コンテンツの質」に集中できる環境が実現します。



制作現場を支えるために生まれた“Brushup”

制作現場のやりとりが煩雑になる原因は、
ツールの分散化でした



メールやチャットは、本来、制作のために生まれたツールではありません。ファイルはあくまで添付するだけ。その結果、ファイルのチェックや修正指示には、別のツールが必要で、進行管理にもまた別のツールが必要です。つまり「ツールの分散化」が、制作プロセスの煩雑さの原因なのです。

Brushupは、制作プロセスに必要な機能をオールインワン。関係者間で制作プロセスが可視化されます。生産性が上がるのはもちろん、修正漏れ、先祖返りなどのリスクを減らせます。

また、人の目によるチェックは、どうしても時間がかかり、見逃しや見落としも起こります。修正前後の差分検出、表記ルールに基づいたチェックなど、自動化の機能を備えたBrushupなら、関係者の体力的・精神的な負担を軽くします。

わたしたちが**制作DX**を支援します

課題の見える化から、運用設計、運用定着まで一貫してサポート

私たちは中小企業から上場企業まで、これまでに約1,000社の制作DXをサポートしてきました。

そして、約10年間に寄せられた現場の声をベースに、Brushupはアップデートし続けており、シンプルなUIに見えますが、たくさんの機能を備えています。

私たちは、お客さまの現状の制作プロセスをお伺いして課題を把握し、プロセスの改善に最適な機能をピックアップします。その後、運用設計から運用が安定するまで伴走します。



1 課題の見える化

- 制作プロセスのヒアリング
- 課題の見える化
- 費用対効果のシミュレーション

2 運用設計

- 制作プロセスの改善に向けたBrushupの機能選定
- 社内外の関係者を含めた運用提案

3 環境構築・試験運用

- Brushupの環境構築
- 試験運用 (PoC)
- 環境チューニング

4 本格導入

- 関係者への説明会
- マニュアル作成支援

5 運用定着支援

- 利用状況の確認
- 運用フォロー説明会・質疑応答会の開催
- 設定した費用対効果の検証

6 機能拡張・利用拡大

- 社内外の利用範囲の拡大
- さらなる業務効率向上のための機能拡張
- 他システム連携

制作プロセスを、迷わずひと目で

コンテンツ単位のやりとりの設計

Brushupでは、例えば「チラシ1枚」「カタログ1冊」「キャラクター1体」など、1つのコンテンツごとに、ファイルと修正などのコメントのやりとりがまとめられています。そのため、メールやチャットのように過去のやりとりを探し回る必要はありません。

並行作業の多い現場で真価を発揮

制作現場では、複数のコンテンツを同時進行で進めるのが当たり前。Brushupの「コンテンツ単位のやりとりの設計」は、並行して進む複数案件の混乱を防ぎ、ストレスなくやりとりを進められるようにします。

最新ファイルの
場所がすぐにわかる

古いデータへの
「先祖返り」が起こらない

やりとりの履歴を見れば
認識ズレが防げる

管理者は俯瞰して状況を把握できる

「今、誰がボールを持っているのか」「どの作業ステップまで進んでいるのか」が一目で分かるため、管理者が個別に進捗を確認する必要がありません。また他の担当者への作業の引き継ぎもスムーズに行えます。

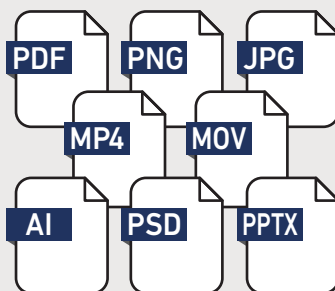


修正漏れも、表記ゆれも、もう見逃さない

人の目 × テクノロジー で支える、新しいレビュー体験を提供

PDF・画像・動画など、さまざまな形式のファイルに対応。複数人が一つのファイルにコメントできるため、「集約の手間」や「意見のとりまとめ」に時間を取られることはありません。さらに、人の目によるチェックを補完する機能も備えており、アナログではできない正確さや効率を実現します。

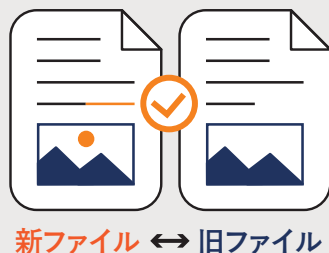
多様なファイル
を直感的に校正



2画面比較で
修正箇所1つ1つを
確実にチェック



新旧ファイルの
差分を自動で検出
(画像・文字)



独自辞書や
原稿との
照合を自動化



部署や企業の垣根を越えて、ワンチームに

パートナー、クライアントとのやりとりも、Brushupひとつで完結

社内の別部署、制作会社やクリエイター、クライアント、校正会社など、関わり度合いや役割に応じて柔軟なつながり方が可能です。関係先によって異なるツールを使い分ける必要はありません。

がっつり一緒に制作進行

関わり度合い 

制作物ごとに流れを分けつつ、メールやチャットのようなコメントやファイルのやりとりができます。

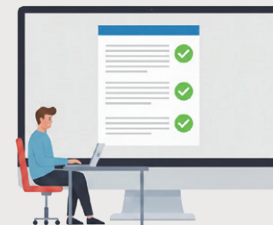


やりとりする相手の例 | 他部署、制作会社、個人のデザイナー

コンテンツのチェックだけしてほしい

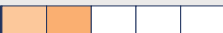
関わり度合い 

制作プロセスの共有は不要。コンテンツのチェックだけを依頼したい場合は、ゲストアカウントとして招待し、確認してもらうことができます。



やりとりする相手の例 | 他部署、クライアント、校正会社

コンテンツの“ココだけ”チェックしてほしい

関わり度合い 

1つのコンテンツ内に複数企業の情報が含まれる場合、必要な部分を切り出してチェックの依頼ができます。



やりとりする相手の例 | メーカー、取材した人や企業・お店

チェックした内容を共有したい

関わり度合い 

チェックした内容をPDFや紙に出力して、関係者に共有できます。動画は、サムネイルやタイムコード付きで出力されます。



やりとりする相手の例 | 制作会社、個人のデザイナー

見た目はシンプル、できることはパワフル

コメントやファイルのやりとり、コンテンツのチェック、進行管理までを一つに集約。

コンテンツのやりとりをもっとシンプルに、より直感的に。Brushupなら、制作プロセスが手に取るように分かります。



コンテンツの
階層管理



コンテンツ
単位のコメント
とファイルの
やりとり



コンテンツの
チェック、
修正指示



コンテンツの
新旧の比較

現場が語る、制作DXの効果

制作にかかる工数が、**70%くらい削減**できているんじゃないかなと思っています (出版・ディレクター)

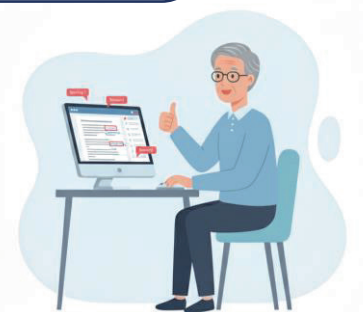
一つ一つの作業は1～2分でも、数十人分の作業が積み重なれば、膨大な時間になります。Brushupの導入によって**会社全体の時間コストを大きく削減**できたことは間違いありません (旅行代理店・ライター)

「今までなんで印刷してたんだろう」と思うようになりました (自治体・担当係長)

導入時は60代のあるスタッフの反応が心配だったのですが、後のアンケートで**「とても使いやすい」と回答**いただけたのでホッとしました (食材宅配サービス・販売促進担当)

家族と一緒に**晩ご飯**が食べられるようになりました (アパレルメーカー・デザイナー)

一つの制作物につき1本のタイムラインで管理できるので、確認漏れなどの**ミスがほとんどなくなりました** (レジャー施設運営・企画担当)



さまざまな業界・業種で 1,000社の制作DXをサポート

出版、小売、メーカー、エンタメ、行政など——Brushupは業界を越えて、あらゆる制作の現場で選ばれています。
大企業から中小企業、個人事業主まで、企業規模もさまざまです。

2025大阪・関西万博
マスターライセンスオフィス
EXPO2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN Master Licensing Office

AlpenGroup

MTG

Oisix ra daichi

gr@phic[®]

GREE

 KODANSHA

KOBE 
UNESCO City of Design

 Soup Stock Tokyo

 Daiichi-Sankyo

HUB

 フジテレビ

B BUSHIROAD

MARVELOUS!

 my theater D.D.
Digital Distribution Company

 マイナビ

MS&AD
三井住友海上

 港区
MINATO CITY

 生涯学習の
ユーキャン

まずはお気軽に ご相談ください

検討初期の情報収集から、具体的な導入のご相談まで。
どんな小さなことからでも、お気軽にご連絡ください



気軽に 情報収集がしたい

「DXしたいけど、何からしよう」「ミスを減らすいい方法ないかな？」など、お気軽にお問い合わせください。「こんなことができる?」というリクエストも大歓迎です。

機能や支援内容を 詳しく知りたい

お客様の知りたいことに合わせて、実際のデモ画面を使ってご説明いたします。細かいことでも構いません。何でもお聞かせください。

同業種の事例で 導入効果を知りたい

約1,000社の導入事例から、お客様の業種に近い事例をご紹介します。導入後の業務をより具体的にイメージしていただけるよう、ご説明いたします。

お問い合わせ >> 株式会社Brushup support@brushup.net

会社概要

会社名 | 株式会社Brushup(ブラッシュアップ)

代表者 | 代表取締役 水谷好孝

設立 | 2017年2月

所在地 | 大阪、東京、島根

事業内容 | コンテンツ制作現場のためのコミュニケーションプラットフォーム
「Brushup」の企画・開発・運営および制作DX支援

URL | <https://www.brushup.net>

情報セキュリティ認証

ISO/IEC 27001 (ISMS) 認証取得済み

[情報セキュリティ認証登録番号: IS 775300]

